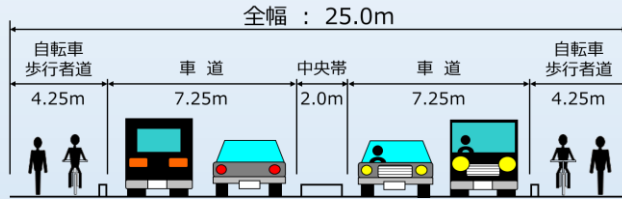


一般国道407号は、栃木県足利市を起点に、群馬県太田市を經由し、埼玉県入間市に至る延長60.7kmに及び広域的な幹線道路です。
 飯能県土整備事務所では、交通渋滞の緩和や地域の活性化を図るため、日高市・鶴ヶ島市内において、延長2.8km区間、四車線によるバイパス道路の整備を進めてきました。このたび、日高市と鶴ヶ島市の間を繋ぐ1.3km区間が開通しました。

概要

- ◆延長 2.8 km
- ◆幅員 25.0 m
- ◆事業期間 平成21年～
- ◆総事業費 約69億円

横断構成図



工事の過程

◎ 着工前 ~before~

◎ 完成後 ~after~



平成21年 3月	調査着手：道路設計や用地測量などに着手
平成23年 9月	用地取得：事業にご理解を得ながら、用地交渉を開始
平成26年12月	工事着手：日高市森戸新田地先から着工
令和 3年 3月	高萩北杉並木交差点より、0.9km区間が開通
令和 3年 9月	開通済みの区間に続き、1.3km区間が開通（計2.2km）

計画区間のうち、鶴ヶ島市道23号線から、国道407号現道に接続する「高倉天神交差点」までの区間についても、地域の皆様のご理解、ご協力の下、早期開通に向け、引き続き進めてまいります。

全線開通により期待される効果



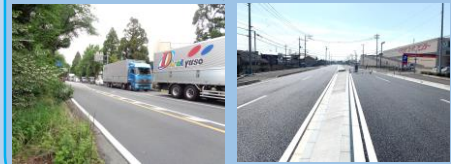
① 移動時間の短縮

「高萩北杉並木交差点」から「高倉天神交差点」までの間の移動時間が短縮されます。



② 交通渋滞の緩和

周辺の慢性的な渋滞が解消されます。



③ 圏央道へのアクセス向上

周辺地域から「圏央鶴ヶ島IC」へのアクセスが向上します。フルインター化との相乗効果で、地域振興にもつながります。



④ 緊急輸送道路網の強靱化

災害の発生時には、人員や物資を輸送する必要があります。救命活動や物資輸送の要として、「緊急輸送道路」が指定されています。緊急輸送道路網が強靱化されることで、迅速な応急対応や早期の災害復旧に役立ちます。